

青空遠足

全校児童が縦割り班の活動で福井運動公園の「こどもの国」へ、「青空遠足」に出かけました。1年生から6年までの児童で構成する36の班に分かれ、オリエンテーリングや自由遊びをして過ごしました。この日まで、6年生は、リーダーとして班のメンバーが気持ちよく過ごせるように準備してきました。

開会式の後、班ごとに「こどもの国」を目指して、班長が先頭になり、低学年の児童の歩きに合わせて安全に気配りしながら歩きました。

到着した班から、オリエンテーリングの開始です。5つのチェックポイントの課題に班のみんなで挑戦していきましました。



「空き缶積み」のポイントでは、制限時間内に最もたくさん積み上げられた空き缶の数が班の得点になります。みんな真剣な表情で空き缶を倒れないよう積み上げていました。「ジェスチャーゲーム」のポイントでは、班長が身振り手振りだけで班員にお題の内容を伝えます。班長の動作を見ながら、班のメンバーが楽しそうに答えていました。



また、出会った先生に挨拶した後、英語で「Rock, Paper, Scissors, Go」と言ってジャンケンする「元気にあいさつ&じゃんけん」という課題も設けました。挨拶の回数が得点に加算されるため、先生を見つけて、みんなでかけ声を合わせてジャンケンにチャレンジしていました。



オリエンテーリングの後は、自由遊びの時間です。「鬼ごっこ」や「だるまさんが転んだ」など班ごとに、年齢の異なる児童と一緒に楽しく過ごすことが出来ました。どの班でも、体格や体力に差がある低学年に合わせて遊んだり、全員が体験できるように配慮したりと高学年の児童が心配りしている様子が見られ頼もしく感じました。



今回の活動を通して、異年齢の児童がふれあう楽しさや相手の気持ちを思いやる大切さを児童は感じ取ってくれたでしょう。